(遠山浩研究科長)の政

本の財政の行方―破綻は

国際法について話す森川教授(右)と長沼氏



法学研究所公開講座

が10~12月、神田キャン 長)の「学生と市民のた 多国間条約交渉の現場に 森川幸一法学部教授(国 ら問題点を聞き、討論を パスで開催された。 の法律学・政治学 (Ⅲ)」 めの公開講座―現場から 通じて解決の糸口を探る 際法)が案内役を務め、 企画の第3弾。第1回は (全3回、法学部共催) 線で活動する実務家か 政治、法律、行政の第 法学研究所(前川亨所 |多様性の保全と持続可能 の利益をどう取り扱う 源が見つかった場合にそ 海底から医薬品の原料と くりが始まった背景と論 途上国側と、現実味が薄 摘。「人類の共同財産と か」は難しい論点だと指 点を解説。なかでも「深 府の代表団長を務めた。 議)準備委員会で日本政 な利用についての国際会 して利益配分を期待する なる微生物などの遺伝資 講座では新たな協定づ 惑が絡み合う国際政治の

森川教授に感謝状国際法教育に尽力 海上自衛隊

きたとして、法学部の森 隊幹部候補生を指導して 川幸一教授が海上幕僚長 国際法の専門家として 大学院で海上自衛 隊員を指導。また法務面 15年前から、大学院法学 いる。11月22日に都内で 研究科に社会人入学した 贈呈式があった。 でも海自と意見交換して

長沼氏は昨年までBB

者の助言を生かし、科学

日本は産業界や科学

の主張には隔たりがあ いと難色を示す先進国側

長年、

本財政の健全化探る

専門家ら多角的に議論



策科学シンポジウム

社会保障関係費の構造的 名誉教授の田近栄治氏は の財政を健全化するため な問題点を論じた。 の方策を話し合った。 現状は高齢者医療・介 基調講演した一橋大学

出身の小黒氏は「医療版

を

く講演したあと田近氏を

交えて議論した。財務省

| ド(経済や人口の動向に る2025年以降は一気 源で賄われているが、団 護の給付費の5割が税財 入したマクロ経済スライ 理的に予算管理しないと こまで負担するのか、合 に額が膨らむ。「国がど 塊世代が後期高齢者とな 療財政の安定につながる 診療報酬を調整するほう 院や薬局などが受け取る 担率引き上げでなく、病 提言した。患者の自己負 療報酬に導入することを 後期高齢者医療制度の診 マクロ経済スライド」

済学研究科の教員が日本 田キャンパスで開催され 日、約70人が参加して神 避けられるか」が10月30 た。財政を研究分野とす る外部の専門家2氏と経 訴えた。 郎教授が司会・進行を務 かに新たな仕組みを」と 社会保障給付費にも速や に調整する)のように、 合わせ給付水準を自動的 め、法政大学経済学部教 パネル討論は櫻井宏二 問題点を取り上げた。 原田教授は地方財政の

夫、鈴木将覚両教授が短 授の小黒一正氏、原田博 い財政健全化目標「25年 主張した。 鈴木教授は政府の新し

得権益と化し、議論もな 税制・財政構造の改革を く固定化している」とし 「地方交付税交付金が既 地方の歳出の縮減や ため、増税と歳出削減の 立てているが、ゼロでは するだけ」と指摘。 政府債務は減らず先送り | B) の黒字化」につい にPB=0という目標を て、「安倍政権は25年度

| 度の基礎的財政収支(P

研

費採択研究から

タクシー業界からは強い反発があります。

有する意味が薄れてきます。乗りたいとき

しかし、今後自動運転化が進むと車を所

に乗って移動するという時代になってから

一必要性を強調した。

今のうちから緩やかに移行したほうがい シェアリングの制度を整えるのではなく、

い。日本企業が世界で生き残るためには「C

ASE」は避けて通れないのです。

生徒との関 わり方学ぶ

め、教職課程を履修する

23日、神田キャンパスで 長)の第66回大会が11月 に関わる卒業生でつくる 開催された。会員をはじ (会長=佐々木重人学 「専修大学教育学会」 第66回教育学会 小中高校の教員ら教育 について理解を深めた。 |児童、生徒との関わり方 スカッションを通して、 る実践報告とパネルディ 席。村松励人間科学部教 学生など305人が出 授による講演、会員によ

シェアリング(共有)、電動化。英語の頭

ドカー(インターネット接続)、自動運転、 次の4要素が挙げられます。コネクティッ います。新時代のクルマのトレンドとして

変革の時代のライドシェアリング

率も考慮しながら、日本の今後の方向性に

こ日本の制度や影響を比較分析し、経済効

ついて提言できればと考えています。

自動車産業は大きな変革の時代を迎えて

中村

生など問題が顕在化。国内では、タクシー

グ先行国では、渋滞、長時間労働、事件発

一方、米国、中国などライドシェアリン

あります。今回の研究では米中など4カ国 **業界などの雇用をどうするかという課題も** 経済学部教授

を取っているのか問いか のは大変な作業だ」と思 効性のある条約をつくる なニーズを取り込み、実 ない。途上国、開発派、 け「先進国も一枚岩では 定交渉でどのような立場 や、米中露の大国が新協 環境保護派などさまざま は既存の条約との関係 信をすることが重要だ」 これを受け、森川教授 と鈴木潔准教授 役所窓口業務改革につい 悠一法科大学院准教授 複雑さを説明。 公共施設の跡地利用と市 について、弁護士と稲垣 る量刑と責任能力の判断 質問が続いた。 (刑事法) が討論した。 12月8日の第3回は、 11月10日の第2回で 窃盗常習事件に関す 東京都八王子市職員 会場から は、「生徒の問題行動の

から感謝状を贈られた。 学)が討論した。 一保安法制などが専門。 森川教授は国際法、 海

話した。 現場の対応」。 学校教諭の陸野 変化に伴う教育 ニケーションの 綾瀬市立落合小

マは「コミュ 実践報告のテ

村松教授の講演を会員、 が熱心に聴講した 学生ら

絵美氏 (平

田口冬樹

子部教授

1月10日(木)10時45分~

生田528教室

出口正義 法学部教授 経営

を専門とする村松教授

座席を利用したい個人に提供します。日本

います。

うすればいいか、学生とともに読み解いて

日本企業が今後も発展し続けるためにはど 業では産業政策と産業の時系列動向から、 果も大きい。担当する「産業技術論」の授

し、ライドシェアリングは、自家用車の空き

自動車を貸し出すカーシェアリングに対

犯罪心理学、非行臨床

リング(相乗り)です

国内で一番難しい取り組みがライドシェア 文字をとって「CASE」と表しますが、

本を支える基幹産業で雇用者も多く波及効

煙業に興味をもってきました。 これらは日

自動車産業のほかに、電機産業、医薬品

り組む非行臨床の経験を の家族の心理的援助に取 した。 理解と指導」をテーマに 現代型非行について解説 きる子どもたちや家族と 伝え、「複雑な時代を生 非行を犯した少年やそ

常に学ぶ姿勢を持たなけ |ればならない。 | 現場か 接する現在の先生方は、 •••••••••••• ら逃げない』と に伝えていくこ したことを後輩 いう気持ちが大 とも重要だ」と |藤大智氏(平27ネット情 一大泉学園中学校教諭の伊 した。パネルディスカッ

報)、専大附属高校教諭 校の取り組みなどを紹介 文)が、小中高校の三つ の杉山比呂之氏 (平17 やクラス運営の手法、学 の現場から子どもの変化 ・たつお)名誉教授。元 文学部教授 金城辰夫氏(きんじょう

のアドバイスに耳を傾け ションでは学生が積極的 に質問し、現役の先生方 去。1967年から20 01年まで在職。 専門は 8月31日、87歳で死

法学部教授

し) 大学史編集主幹。

導入。実際利用すると便利ですが、既存の

ています。京都府の丹後町(京丹後市)では 交通手段がない過疎地では特例で認められ では「白タク」として禁止されていますが、

|界最大手の米ウーバーの配車システムを

業政策を幅広く担当。近著に『Aーが変える 博士課程修了。博士(学術)。経済産業省で産

(なかむら・よしあき)東京工業大学大学院

クルマの未来―自動車産業への警鐘と期待』。

高木侃氏(たかぎ・ただ

など。 『三くだり半と縁切寺』 日本近代法史。著書に 12年まで在職。 専門は 去。2002年から20 11月22日、76歳で死

ます。最終講義を行うのは次の方々 本年度末で14教員が定年退職され

最終講義

学習心理学。

(12月14日現在) のご案内 1月7日(月)13時5分~ | 神田302教室 です。どなたでも受講できます。